



ポット苗への種播き作業風景

まず、水没予定地内において種子の採取を行います。採取する樹種は、ダム建設予定地周辺の落葉広葉樹林を構成する種とし、種子の分布状況、結実状況や採取可能量を把握するた

め、調査を行い、調査結果より樹種および採取量を決め、種子採取を行います。今回は、初めての試みであり、採取・精選・育苗が容易な種子採取時期となる10月下旬以降に採取可能な樹種という事から、10種類程度の種子採取を目標とし、1種につき200粒程度を採取しました。



郷土種による植生回復を目指して

思川開発建設所では、工事等に伴い改変された土地等の植生回復の方法として、ダム建設予定地周辺に生育する郷土種を用いた植栽を検討しています。以前は、のり面の安定化等の観点から急速な緑化を目指していたため、外来種等での緑化を行う事が主流となっていました。これでは、外来種の繁殖能力の強さから在来種が負けてしまい、結果的に環境が変わってしまうという問題が生じます。

まず、水没予定地内において種子の採取を行います。採取する樹種は、ダム建設予定地周辺の落葉広葉樹林を構成する種とし、種子の分布状況、結実状況や採取可能量を把握するた

め、調査を行い、調査結果より樹種および採取量を決め、種子採取を行います。今回は、初めての試みであり、採取・精選・育苗が容易な種子採取時期となる10月下旬以降に採取可能な樹種という事から、10種類程度の種子採取を目標とし、1種につき200粒程度を採取しました。

河川の連携・地域をつなぐ明日への水
おもいがわ
思川開発

思川だより

南摩ダム予定地
(右後方は男体山)

発行所
独立行政法人水資源機構
思川開発建設所
028-622-8941

発行人兼編集人
柴田 安宏

思川開発建設所内 フォトコンテスト実施 (第一回)

南摩ダム周辺の風景等を職員が現地業務を行うかたわら撮影しております。思川開発事業の理解を深めることにもとより、後世への記録として残すために第一回所内フォトコンテストを実施しました。その入賞作品を掲載します。



優秀賞「ムクゲの咲くころ」
第一用地課 新井 広司



グランプリ「日陰の滝」
調整課 小原 利治



優秀賞「蒟蒻の森」
第三用地課 荒木 段



事業の最新情報を皆様にお伝えします おもいがわトピックス

台風による出水状況について

今年、日本に上陸した台風の数観測史上最多の10個を記録し、全国各地で大きな被害をもたらしています。

南摩ダム及び取水放流工周辺地区においては、幸いにも現在のところ被害は報告されておりませんが、今年大きな出水を記録した10月9日の台風22号では、南摩ダムサイト地点において累計雨量154ミリが観測され、同地点の南摩川では19時にピーク流量毎秒22立方メートル、大芦川取水・放流工地点では、20時に毎秒118立方メートル、黒川山口橋地点では、19時に毎秒81立方メートルを観測しました。

また、黒川、大芦川両取水放流工地点において取水制限流量(かんがい期毎秒6立方メートル)を超えた主な出水は、5月の台風2号以降8回(10月25日現在)に達しました。



大芦川(取水・放流工地点)10/9 8時 75m³/s



南摩川(ダムサイト地点)10/9 11時 12m³/s

(注)流量データは速報値です。

水の週間行事に参加

平成16年8月3日(火)に栃木県総合文化センター(宇都宮市)において栃木県水の週間行事が開催され、水の作文コンクール表彰式と水の講演会が執り行われました。ロビーでは思川開発事業等のパネル展示を行い、集まった約500名の方々にパンフレットや冊子を配布しました。来場された皆さんが熱心にパネルをご覧くださいましたのが印象的でした。今後とも機会があれば、このような広報活動を続けていきたいと思っております。

今年で26回目となる「全日本中学生水の作文コンクール」の栃木県表彰式では、県内11の中学校から681名の方々の応募をいただき、各中学校



こんにちは! 南摩の仲間たち



その
リンドウ科
リンドウ(竜胆)
Gentiana scabra
var. buergeri
花期: 9~11月
分布: 本州、四国、九州

リンドウは、日本の秋を代表する山野草で、9~11月に青紫の花を咲かせます。一般に高原から平地の明るい草地や雑木林に生育し、南摩では西之入地区や栗沢地区などの日当りの良い管理された雑木林の林縁部などで見られます。

リンドウは、漢字で「竜胆」と書きます。漢方ではリンドウの根茎や根を乾燥させたものを「りゅうたん」と呼び、健胃薬として使用されています。非常に苦く、「クマの胆嚢」よりもさらに苦いという意味で「竜胆」と名付けられたそうです。

リンドウに似た花としては、フデリンドウやツルリンドウが挙げられます。フデリンドウは春に咲き、秋には咲かないのでリンドウと区別できます。ツルリンドウは秋にも咲くのですが、文字通りツル状で、且つ花が淡紫色をしているので区別できます。

これから秋本番に向かい少し寒さを感じる季節になってきましたが、皆さんも野外に出てリンドウの青紫の美しい花を探してみませんか?

かぬま産業交流フェアに出展します

思川開発建設所では、来る11月6日(土)・7日(日)に鹿沼商工会議所(鹿沼市)に鹿沼商工会議所主催の「かぬま産業交流フェア」に出展いたします。このイベントは、鹿沼市の産業紹介や特産品の展示、即売を行います。

かぬま産業交流フェアとは、鹿沼市の産業紹介や特産品の展示、即売を行います。



びっくり! 水の資源の まめ知識



その「日本の水事情」

今後、日本の人口は減少に向かうと予測されていますが首都圏、名古屋圏、大阪圏では今後20年程度横ばいで推移すると見込まれており、これらの圏域では水需要量も現在と同様の水準が続くと予想されます。

一方、日本の年平均降水量の経年変化をみると、小雨年と多雨年の開きが次第に増加し、渇水年の降水量が減少する傾向にあることから、安定した水資源の確保について全く心配がないとはいえず、これからも水を限りある資源と認識し節約することも大切です。

また、想定していた規模以上の渇水が生じた場合の対応を考慮しておく必要があります。

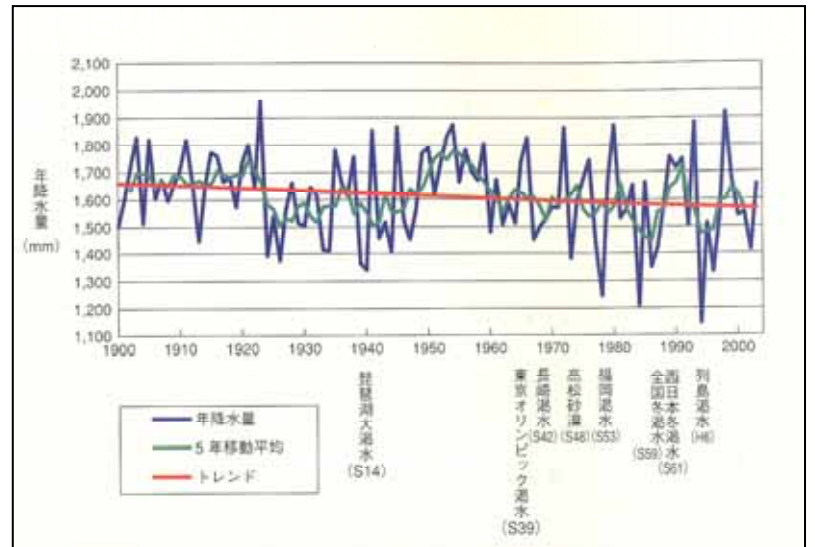


図-1 日本の降水量の経年変化

参考文献:「平成16年版 日本の水資源」

人事異動

10月1日付で転入・転出のありました職員を紹介します。

転入者 「よろしくお願ひします」【前任地】

第一調査設計課 一ノ瀬泰彦 (荒川ダム総合事業所)

転出者 「お世話になりました」【転出先】

第一調査設計課 津久井正明 (荒川ダム総合事業所)

工務課 角田 和彦 (荒川ダム総合事業所)

